

講座・イベント・情報

◆平成23年度JICA「青年海外協力隊」春募集

技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

○募集分野：8部門 約100職種

○募集期間：4月1日（金）～5月16日（月）

○派遣国：約80ヶ国

○応募資格：満20歳から満39歳までの日本国籍を持つ方（2011年5月16日現在）

○派遣期間：原則として2年間

○待遇等：JICAの規程に基づき、往復旅費、現地生活費、住居費、国内積立金等支給

○体験談&説明会日程については下記HP参照

○問合せ先：JICA九州（北九州市八幡東区）

TEL093-671-8349

<http://www.jica.go.jp>



◆『自立した生活を送るための講座』

（11回シリーズ・有料）

ゆっくり学べる。楽しく学べる。“いつかの自立”のための講座です。どんなに重度の障害があっても、きっと、だれでも、あなただけのステキな生活が送れるはず…。

○日時：5月14日（土）～7月23日（土）まで
毎週土曜日13：00～17：00

○会場：生涯学習総合センター
（小倉北区大門1丁目6番43号）

○対象者：障害をお持ちの方

○定員：10名

○参加費：5,000円

○申込方法：申込用紙を提出、FAXまたは電話。

○締切：5月7日（土）

○申込・問合せ先：

NPO法人 自立生活センター ぶるーむ

TEL093-562-5431

FAX093-583-3257

E-mail：cil-bloom1@mbn.nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

助成金情報

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
平成23年度みなとや海辺の活動支援	環境	北九州市	3/31
平成23年度「緑と水の森林基金」		社団法人 国土緑化推進機構	3/31
平成23年度「緑の募金公募事業」		社団法人 国土緑化推進機構	3/31
平成23年度 公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成		(財) 自然公園財団	4/5
2011年度「西部朝日福祉助成金」	福祉	朝日新聞厚生文化事業団	3/25
2011年 日本財団「福祉拠点の整備 リフォーム助成」		日本財団	3/31
平成23年度 社会福祉振興助成事業		独立行政法人福祉医療機構	4/15
『第28回（平成23年度）老後を豊かにするボランティア活動資金』		みずほ教育福祉財団	5/31
2011年 全労済地域貢献助成事業	子ども	全労済	4/4
キリン・子ども「力」応援事業公募助成		(財) キリン福祉財団事務局	4/30
財団法人カメイ社会教育振興財団平成23年度助成	社会教育	カメイ社会教育振興財団	4/15

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法人は、資金を集め易いのですか？

A. NPO法人は、社会貢献を行う団体として、好意的なイメージを持たれることが多くあります。そのため、寄付等の資金集めが容易ではないかと思われがちです。

しかし、ある調査では、約3割のNPO法人が寄付金・協賛金収入0円という結果が出ています。

寄付に限らず市民等からの支援を得ようとするのであれば、具体的な活動成果や団体活動の透明性を積極的な情報発信によりアピールすることで、社会的信頼性を築いていくことが必要です。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年1月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	40,211	38,577
【福岡県】	1,474	1,435
内閣府	3,508	3,287
全国計	43,719	41,864

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年2月28日現在

	受理数 (認証数+現在申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	273	266

北九州市内で特定非営利活動を行う団体・個人の方

★団体登録しませんか★

北九州市市民活動サポートセンターでは、現在、北九州市内において、市民活動やボランティア活動を行っている方で、当センターに団体登録を希望される団体・個人を募集しています。登録された団体は、当HP上の団体検索ページに団体情報が掲載されるほか、ボランティア募集やイベント情報の告知をHPやメールニュースで行うことができます。また、印刷機やミーティングルームなどサポートセンター内の施設をスムーズに利用することができます。



皆様のご登録をお待ちしています★

メルマガ登録しませんか？

サポートセンターでは、メールマガジン(キラキラヘッドラインメール)を毎週金曜日に配信しています。当センターの講座やお知らせの他に、NPO・ボランティア活動など市民活動に関するお役立ち情報が満載です。ボランティア活動に興味のある方、実際活動している方、当センターのHPから登録してみませんか？

登録方法は、下記URLから、左のバーナー「キラキラヘッドラインメールのお申込について」をクリックしていただくと、申込画面へ移動します。

↓キラキラHP↓

<http://www2.kid.ne.jp/v-net/>

いろんな情報盛りだくさんだよ～



編集後記

3月4日に弟の子どもが生まれ、名実共に叔母さんとなりました。嬉しいやら、悲しいやら、“おばさん”と呼ばれることに未だ抵抗のあるアラサーです(涙)

我が家では、1歳の息子を中心に、パパ、ママ、祖父母のことは、ジジ、お母さんと呼んでいます。母もまだババとは呼ばれたくない様子。ある日、自分だけジジと呼ばれることに不満を持った父が、「今日から俺を『JJ』と呼べ！母さんのことは『BB』だ！」と言い出しました。何でも、哀川翔さんご夫婦がお孫さんたちにそう呼ばせているそうで…以来、自分だけが『JJ』と呼んでいる父なのでした。 by ポシヨ



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】3月31日(木)・4月28日(木)

第110回 サポートセンターの日2月25日(金) 『NPO活動発表会「私たちの海外視察・研修報告会」』

☆発表内容☆

『フィンランドで見てきたこと』

読み聞かせ「芽ばえ」ほか／
サポートセンター専門相談員
川部 重子さん



Central Union For Children Welfare

昨年11月、福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」に参加して、フィンランドのCentral Union For Children Welfareという、子どもの福祉と教育に関連したNPOの施設を見学してきました。



フィンランドこぼれ話

- ・車の税金は100%です！
- ・フィンランドの国旗の十字の青は湖と空、白は雪を表しています。



- ・挨拶編
「ハイ」は『おはよう』『こんにちは』『ハイハイ』は『おやすみなさい』『さよなら』を意味します。

フィンランドは世界的に見ても男女平等指数が高く、大統領も女性です。子どもの教育費は大学まで無料で、子ども手当でも17歳未満に支給されます。

『Central Union For Child Welfare』は、子どもにとって良い事（利益になりそうなこと）を中央につなぐ機関です。スロットマシンの利益の一部が資金源になっているというのもユニークだと思いました。

仕事と家庭の両立の推進もこの施設の主な活動の一つです。両親の離婚後の子どもの未来のためのプロジェクト、出版・情報の発信などの広報・啓発活動などを行っています。日本に比べ、明らかに育児環境整備のための組織間連携のコーディネートがきめ細やかです。就学前の子どもの保育として、ディケアセンター(幼稚園と保育園のようなフルタイムケア)も整っています。

私の感想ですが、フィンランドは国全体が細やかな子育てで支援をしていると思いました。親は育児と仕事の両立をするための支援の選択を自分で行うことができるのが、特に素晴らしいと感じました。参考にする事が多い中で、これからの私の活動に少しでも、活かしていけたらいいと思いました。

☆発表内容☆

『東ティモールでの活動』

地球交遊クラブほか／
サポートセンター専門相談員
服部 祐充子さん



保健・母子保健プロジェクトの村に(ファトボル村)

NPO 法人地球のステージでは東ティモール事業の一環として、現地で移動診療を展開しています。今回私はスタディツアーに参加して、現地での国際協力のあり方と、私の活動の一つであるコーヒーのフェアトレードの普及を進めるため、コーヒーの森を見てきました。



東ティモール人は自分たちの国を**ロロサエ**(陽が昇る場所)と呼ぶ

東ティモールの首都ディリの診療所を拠点に、7か所目の支援先の村と郊外の結核療養所や孤児院を訪問。日本の国際支援団体のオフィス、村のバザールにも行きました。孤児院で少年たちに歌を聞かせてもらい、バザールで村のコーヒーを買ったり、マーケットでタイス織りの実演を見ることができました。

病院を拠点に活動したので、生まれた場所が違うだけで助かる命、助からない命がある事実をつきつけられ、自分がいかに非力なのかを実感しました。

一方、ひたむきに医療活動をされるダン先生、アイダ先生、桑山さんの姿勢に私でもなにかできることはないかとツアーの間、ずっと考えました。

東ティモールの独立から10年。私も日本の戦後を「戦争を知らない世代」として生きてきました。これから20世紀には想像もできなかったようなスピードと変化の激動の21世紀を、心豊かで心やさしい東ティモールの人々が、日本や先進国が目指したモノの豊かさではなく、地域や家族の絆を大切にしながら発展を目指して行けることを願ってやみません。

東ティモールの数少ない産業としてコーヒー、タイス織、ソラマメチップなどがあり、取り組む人々を目の当たりにしました。今後はこれらを紹介・販売することで東ティモールの人々の支援になり、多くの途上国で必要とされるフェアトレードを広める活動に力を入れていきたいです。

人口：約106万人
言語：テトゥン語・ポルトガル語
国土：東京・千葉・埼玉・神奈川県
の4県分程度
宗教：ほとんどキリスト教徒



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:107 平成23年3月15日

…つばやきサロン…

『思い』

成年後見制度について研鑽を積むために、関係者が集まり月に1度のペースで研修会を開いた。半年が過ぎ、一通りの知識を身につけたところで、成年後見制度の普及を目的としたNPOを設立することになる。最初に取り組んだのが無料相談会であったが、誰の目にもとまらなかった。制度の性質上仕方がないことなのだろうと、半ばあきらめムード。そのような中、成年後見に限らず、高齢者支援に幅を広げてみてはどうだろうと意見が出る。そして、誰にでもなじみのある、「相続・遺言」を取り入れようと、意見はまとまる。

相談会だけでなく、セミナー形式をとることにし、さらに、ありきたりの座学を避けるためにということで、芝居を取り入れることにする。第1部で『おじいちゃんの遺言』と題した寸劇を披露し、第2部で劇の解説も含め、相続・遺言・成年後見制度の説明をする、というものである。

この形態でセミナーを行うようになって3年余りの時が過ぎた。初めはぎこちなかったセリフも、今ではアドリブまで飛び出すまでに進化している。皆が一体となって取り組んでいることが実感できる瞬間である。6年前研修会に参加した時に、このような姿は想像することなどなく、ただその時だけの勉強会でしかなかったというのに。

振り返ればいくつかの転機があった。その都度入れ替わるメンバー。その時々『思い』を共有できた者たちが核となり、現在の活動を支えている。考え方が違って同じ方向に『思い』があればうまくいくということなのだろうか。

いまのところ活動は北九州市内である。しかし、今後は周辺地域へと広げて、行く行くは全国展開を…と目論んでいる。(これは『思い』というより夢?)ともあれ、今月は初めて北九州市を出て行橋市内で「公演」する予定である。是非とも成功させて次のステップに進みたいものである。



NPO法人北九州後見支援センター 理事 島村 繁美